

練馬区民合唱団

第26回定期演奏会



2018 / **2/25** (日) 14時開演

練馬文化センター 大ホール

ごあいさつ

本日は、寒さの厳しい中を私どもの演奏会にお越し頂き、誠に有難うございます。団員一同心から厚く御礼申し上げます。

大きな節目となる創立 30 年を間近に臨めるところまでやってきました。初心を忘れず、一同心を併せて一層励んで参りたいと考えております。

プログラム構成はいつもと異なり、2 部構成としております。第 1 部は日本の歌です。練馬区民合唱団創立時からの指揮者であった故長井則文先生作曲の 2 曲を含む 3 曲と、長く歌い継がれてきて良く知られている数々の歌を、その情景・風景を、少しの違和感も感じさせないように配慮しながら、丁寧に増幅させるよう編曲された曲たちです。第 2 部はシューベルト作曲のミサ曲変ホ長調です。シューベルトは生涯に 6 曲のミサ曲を作曲しており、変ホ長調は最晩年に作曲されたものです。ミサ曲は、カトリック教会の定めた厳格なラテン語の典礼文を対象に作曲されます。しかし、シューベルトは、ミサ曲の中でも特に重要な Gloria (栄光)、Credo (信仰宣言) の典礼文の一部を省略して作曲しております。例えば Credo の中で訳文で記すと、「唯一の聖なるカトリックの使徒の教会を信じる」、「復活を待ち望む」などが脱落しています。20 世紀に入っても、カトリックからの批判が浴びせられていたようです。しかし、作曲後 10 年経過した 1839 年には、「ミサ曲変ホ長調は、疑いもなく最も深遠かつ完成度の高い作品の一つである」と評価されています。私たちは、この強弱の変化に富んだ、長くて難しい大曲に挑戦し、オケの伴奏で素晴らしいソリストの皆さんと共に一生懸命頑張ります。

私たち一人ひとりが皆様に感謝して、心から歌う喜びを感じながら歌います。

皆様への温かい贈り物となれば幸いです。

練馬区民合唱団

団長 鍋田隆章



第 25 回定期演奏会 (練馬文化センター)

プログラム

I. 歌いつがれる日本人の歌

風は五月に限る

長井 則文 作詞 / 作曲

ふるさと楽し

岡本 敏明 作詞 / スイス民謡

Green, forever

長井 則文 作詞 / 作曲

混声合唱のためのメドレー

日本の風景

鶴崎 庚一 作/編曲

冬景色 (文部省唱歌 / 鶴崎 庚一 編曲)

(注)「冬景色」は曲のみ

春の小川 (高野 辰之 作詩 (林 柳波 改詩) / 岡野 貞一 作曲 / 鶴崎 庚一 編曲)

うみ (林 柳波 作詩 / 井上 武士 作曲 / 鶴崎 庚一 編曲)

めだかの学校 (茶木 滋 作詩 / 中田 喜直 作曲 / 鶴崎 庚一 編曲)

村 祭 (文部省唱歌 / 鶴崎 庚一 編曲)

たき火 (巽 聖歌 作詩 / 渡辺 茂 作曲 / 鶴崎 庚一 編曲)

冬のもてこし (三好 達治 作詩 / 鶴崎 庚一 作曲)

ふるさと

故 郷 (高野 辰之 作詩 / 岡野 貞一 作曲 / 鶴崎 庚一 編曲)

指 揮 : 永井 宏

ピアノ : 江本 裕美

・・・休憩・・・

II. ミサ曲第6番 (変ホ長調) D 950

F.シューベルト作曲

Kyrie

Gloria

Credo

Sanctus

Benedictus

Agnus Dei

指 揮 : 永井 宏

ソプラノ : 飯田 祥子

アルト : 宮田 優

テノール : 小林 祐太郎

テノール : 堀越 尊雅

バ ス : 狩野 賢一

管弦楽 : コンツェントゥス・ムジクス東京

歌 詞

風は五月に限る (長井則文 作詞)

一 風は五月に限る
ララ、ラララララララー
山、山を越えて
海、海を渡る
はなやいだ風の旅
風は五月に限る

二 風は五月に限る
ララ、ラララララララー
街、街におはよう
雲、雲におはよう
新鮮な風の声
風は五月に限る

三 風は五月に限る
ララ、ラララララララー
歌、歌を歌い
愛、愛をはこぶ
さわやかな風の音
風は五月に限る

ふるさと楽し (岡本敏明 作詞)

一 ふるさとの山は
緑に映えて
小鳥は楽しく
春を歌うよ
バンデリ バンデラ
ふるさと楽し

二 ふるさとの野辺は
れんげ しとね
蓮華の褥
小川は流れる
花びら浮かべ
バンデリ バンデラ
ふるさと楽し

三 ふるさとの友は
今も優しく
変わりもないねと
手を差し伸べる
バンデリ バンデラ
ふるさと楽し

Green, forever (長井則文 作詞)

遠い昔の緑の森は
今も同じ緑だろうか
神代の時の青い海原は
今も同じ青さだろうか

ひとが森に優しければ
ひとが海に優しければ
同じ緑だ 同じ青さだ
同じ緑だ 同じ青さだ

混声合唱のためのメドレー

「日本の風景」

春の小川 (高野辰之 作詩/林 柳波 改詩)

一 春の小川は さらさら行くよ
きのすみれや れんげの花に
すがたやさしく 色うつくしく
さいているねと ささやきながら

二 春の小川は、さらさら行くよ
えびやめだかや 小ぶなのむれに
今日も一日 日なたでおよぎ
あそべあそべと ささやきながら

うみ (林 柳波 作詩)

一 うみは ひろいな
大きいな
月がのぼるし 日がしずむ

二 うみは 大なみ
あおいなみ
ゆれてどこまで つづくやら

三 うみに おふねを
うかばせて
いってみたいな よそのくに

めだかの学校 (茶木 滋 作詩)

一 めだかの学校は川の中
そっとのぞいて見てごらん
そっとのぞいて見てごらん
みんなでお遊戯しているよ

二 めだかの学校のめだかたち
だれが生徒か先生か
だれが生徒か先生か
みんなで元気に遊んでる

三 めだかの学校はうれしそう
水にながれてつーいつい
水にながれてつーいつい
みんながそろってつーいつい

村 祭 (文部省唱歌)

ちんじゅ
一 村の鎮守の神様の
おまつりび
今日はめでたい御祭日
ドンドンヒャララ
ドンヒャララ
朝から聞こえる笛太鼓

二 年も豊年満作で
村は総出の大祭
ドンドンヒャララ
ドンヒャララ
にぎ
夜まで賑わう宮の森

みのり
三 稔の秋に神様の
めぐみたたえる村祭
ドンドンヒャララ
ドンヒャララ
聞いても心が勇み立つ

☆ 冒頭の「冬景色」は曲のみ
「めだかの学校」「村祭」「たき火」「故郷」は、
2 番までの編曲となっています。

たき火 (巽 聖歌 作詩)

一 垣根の 垣根の まがりかど
たき火だ たき火だ おちばたき
「あたらうか」「あたらうよ」
北風びいふう 吹いている

二 さざんか さざんか 咲いた道
たき火だ たき火だ おちばたき
「あたらうか」「あたらうよ」
しもやけ おててがもうかゆい

三 こがらし こがらし 寒い道
たき火だ たき火だ おちばたき
「あたらうか」「あたらうよ」
相談しながら 歩いてく

冬のもてこし (三好達治 作詩)
「駱駝の瘤にまたがって」より

冬のもてこし 春だから
この若^{くさ}艸に 坐りませう

海のもてこし 砂だから
砂にはをどる 松林

無限の時^はが 来て泊てる
岬のかけの 入江です

風のもてこし 帆が二つ
帆綱ゆるめて
はたと落つ

それらのものの 一つです
さらばわれらの 語らひも

ふるさと
故郷 (高野辰之 作詩)

一 お
兎追いしかの山
こぶな
小鮒釣りしかの川
夢は今もめぐりて
忘れがたき故郷

二 いか い
如何に在ます父母
つつが
恙なしや友がき
雨に風につけても
思い出^いずる故郷

三 志をはたして
いつの日にか帰らん
山は青き故郷
水は清き故郷

日本音楽著作権協会 (出)
許諾第 1800758-801 号

対 訳 MESSE Es-dur (ミサ曲変ホ長調)

von FRANZ SCHUBERT

KYRIE

Kyrie eleison.
Christe eleison.
Kyrie eleison.

主よ、あわれみください
キリストよ、あわれみください
主よ、あわれみください

GLORIA

Gloria in excelsis Deo.
Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.
Laudamus te. Benedicimus te.
Adoramus te. Glorificamus te.
Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.
Domine Deus, Rex caelestis, Deus Pater omnipotens.
Domine Fili unigenite, Jesu Christe.
Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.
Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.
(Qui tollis peccata mundi, suscipe deprecationem nostram.
Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.)
Quoniam tu solus sanctus.
Tu solus Dominus.
Tu solus Altissimus, (Jesu Christe.)
Cum Sancto Spiritu, in gloria Dei Patris.
Amen.

非常に高いところ、天では神に栄光がありますように
地では善意の人々に平和がありますように
私たちは、あなた、主を誉め、讃え、
拝み、崇めます
主の大いなる栄光のゆえに私たちは、あなた、主に感謝します
神である主よ、天の王よ、全能の父である神よ
主なるおんひとり子、イエス・キリストよ
神である主よ、神の子羊よ、父なる神の息子よ
世の罪を取り除かれる方、主よ、私たちをあわれみください
(世の罪を取り除かれる方、主よ、私たちの願いを聞き入れください
父である神の右に座しておられる方、主よ、私たちをあわれみください)
と願うのは、あなた、主だけが神聖だからです
あなただけが支配者だからです
あなただけが至高の方だからです、(イエス・キリストよ)
聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに
アーメン

CREDO

Credo in unum Deum.

(Patrem omnipotentem,) factorem coeli et terrae,
visibilium omnium, et invisibilium.

Et in unum Dominum Jesum Christum, Filium Dei unigenitum.

Et ex Patre natum ante omnia saecula.

Deum de Deo, lumen de lumine, Deum verum de Deo vero.

(Genitum, non factum, consubstantialem Patri;)

per quem omnia facta sunt.

Qui propter nos homines,

et propter nostram salutem descendit de coelis.

Et incarnatus est de Spiritu Sancto

ex Maria Virgine: Et homo factus est.

Crucifixus etiam pro nobis:

sub Pontio Pilato passus, et sepultus est.

Et resurrexit tertia die, secundum Scripturas.

Et ascendit in coelum: sedet ad dexteram Patris.

Et iterum venturus est cum gloria,

judicare vivos, et mortuos:

cujus regni non erit finis.

Et in Spiritum Sanctum, Dominum, et vivificantem:

qui ex Patre Filioque procedit.

Qui cum Patre et Filio simul adoratur, et conglorificatur:

qui locutus est per Prophetas.

(Et unam sanctam catholicam et apostolicam Ecclesiam.)

Confiteor unum baptisma in remissionem peccatorum.

(Et expecto resurrectionem) mortuorum.

Et vitam venturi saeculi. Amen.

わたしは唯一の神を信じます

(全能の父なる神を、) 天と地と、

全てに見えるもの、見えないものの創り主を

そして唯一の主、イエスキリスト、神の一人息子を信じます

そして、全ての時代の前に父なる神から生まれた方を

神よりの神を、光よりの光を、まことの神よりのまことの神を

(創られずして生まれ、父なる神と一体となっている方を、)

その方によって全ての物は創られました

その方はわたしたち人類のために そしてまた

わたしたちの救済のために天から降りてこられました

そして、その方は聖霊によって

乙女マリアから肉体を受け、人間とられました

その方はさらに、わたしたちのために十字架につけられ、

ポンツィオ・ピラトの下で苦しみを受け、葬られました

そして、主は聖書にあるように三日目に復活されました

そして、天に昇り、父なる神の右に座して居られます

そして、ふたたび栄光とともに来られ、

生きている者たちと、死者たちを裁かれます:

その方の王国には終わりはありません

そして、主である聖霊を、生命の与え主を信じます

その聖霊は父なる神とその息子から出ています

聖霊は、父なる神と息子とともに崇拜され、讃えられます:

聖霊は預言者を通して語られました

(そして、唯一の聖なるカトリックの使徒の教会を信じます)

わたしは、罪の赦しのための唯一の洗礼を認めます

(そして、わたしは) 死者の(復活を待ち望みます)

そして来世の生命を アーメン

SANCTUS

Sanctus, Sancus, Santus, Dominus Deus Sabaoth.

Pleni sunt coeli et terra gloria tua.

Osanna in excelsis.

神聖な、崇高な、崇めるべき万軍の神である主よ

天と地はあなた、主の栄光で満ちています

天の高いところにおいてホザンナ

BENEDICTUS

Benedictus qui venit in nomine Domini.

Osanna in excelsis.

主の名によって来る者は祝福されますように

天の高いところにおいてホザンナ

AGNUS DEI

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi: miserere nobis.

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi: dona nobis pacem.

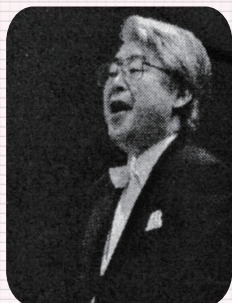
世の罪を取り除きくださる神の小羊、主よ、私たちに憐みください

世の罪を取り除きくださる神の子羊、主よ、

私たちに平和をお与えください

出演者プロフィール

指揮者 永井 宏 ながい ひろし



1953年、横浜に生まれる。

国立音楽大学卒業・同大学院修了（ピアノ専攻）。

学部在学中に東京文化会館推薦音楽会に出演したのを皮切りにピアニストとしての活動を始め、ソロ、室内楽、伴奏など多方面にわたり全国各地のコンサート、放送などで活躍。一方、ピアニストとしての枠を自然に壊して始まった指揮活動も、長年にわたるコレペティチュア経験をもとに多岐におよび、なかでも声楽付き管弦楽曲の分野では他の追随を許さない成果をあげている。

ソリスト

ソプラノ 飯田 祥子 いいだ しょうこ



千葉県千葉市出身。千葉県立千葉女子高等学校を経て、国立音楽大学音楽学部演奏学科声楽専修を卒業、また、アドヴァンストコース（歌曲ソリストコース）を修了。

同大学在学中には学内選抜者によるVocal Concert 2014に出演。これまでに、千葉市おんきょうコンテスト2015において千葉市文化連盟会長賞を受賞、KOSMA主催声楽コンクール2016において金賞を受賞、第27回日本ドイツ歌曲コンクール（前友愛ドイツ歌曲コンクール）において入選を果たす他、Keiko Yamamoto Dürr、Karl-Friedrich Dürr、星野明子の各氏による〈歌い手とピアニストのためのドイツ歌曲マスタークラス〉を受講。また、毎年ドイツ歌曲のみを取り上げたりサイトル〈LIEDER〉を開催している。声楽を細川千賀子、二見忍、加納悦子の各氏に師事。

メゾソプラノ 宮田 優 みやた ゆう



静岡県出身。国立音楽大学演奏学科声楽専修卒業、同大学大学院修士課程歌曲コース修了。ハイドン『ネルソンミサ』、モーツァルト『レクイエム』、メンデルスゾーン『3つのモテット』など様々な演奏会にてソリストを務める。声楽を田代雅子、長島剛子の各氏に師事。

テノール 堀越 尊雅 ほりこし たかまさ



福島県会津若松市出身。国立音楽大学卒業。声楽を久保田真澄、吉田浩之、佐藤淳一、高橋祐二の各氏に師事。在学時、白井光子氏、N.シトラー氏のドイツ歌曲に関する公開レッスンを受講。J.S.バハ『ミサ曲ト短調』や複数の教会カンタータ、ジル『レクイエム』、ハイドン『聖ニコライミサ』、モーツァルト『レクイエム』『戴冠ミサ』『ミサ・プレヴィス』他多くの宗教曲、ベートーヴェン『交響曲第九番』等におけるソリストを務める。オペラにはモーツァルト『フィガロの結婚』からワーグナー『トリスタンとイゾルデ』まで幅広いジャンルの作品に出演。また極小編成でのパレストリーナ『教皇マルチェルスのみサ』、J.S.バハ『イエス、我が喜び』等の古楽演奏にも従事。都内各地で合唱団の指導も行う。日本合唱協会、ヴォーカルコンソート・東京、古楽集団 Affetti mvscicali、コンツェントゥスムジクス・東京 各メンバー。第24回友愛ドイツ歌曲コンクール入選。

テノール

小林 祐太郎 こばやし ゆうたろう



国立音楽大学卒業。国立音楽大学大学院修了。二期会オペラスタジオマスタークラスを優秀賞で修了。モーツァルト没後200年記念国際声楽コンクール入選。97年新国立劇場開場記念公演「建」に出演。文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリアにて研鑽を積む。声質は、日本では貴重なリリコスピントで、近年は「道化師」「椿姫」「仮面舞踏会」「カルメン」「蝶々夫人」「魔笛」「夕鶴」「こうもり」等々 プリモテノールとして成果をあげている。オペラ作品のみならず「レクイエム」(ヴェルディ&モーツァルト)・「第九」(ベートーヴェン)等々多くの作品において高い評価を得ている。ロングラン コンサートシリーズに、「名曲はゆとりの香り」があり、昨年末に22シーズン第88回を突破し、本年12年目を迎えた。また、ヴァチカン教皇庁公認の日伊文化交流演奏会に於いては、20年以上にわたり、独唱・合唱指導・指揮等々に尽力し、その功績が認められ文化功労者友好章を授与された。2016年には、《日伊国交150周年記念公式認定 文化交流特別演奏会》に招聘され、トスカーナ州モンテネーロ大聖堂にて演奏し好評を賜る。本年3月にも再度イタリア サチーレ大聖堂にて、スカラ座のマエストロのもと演奏することが決定している。現在、二期会会員・日本演奏連盟会員。玉川大学非常勤講師。ヴォーチェドロ主宰。混声合唱団コーレグロリア東京・府中市第九を歌う会合唱団2015&2017・女声合唱団シング 常任指導者。公式ホームページ：<http://www.kobayashi-yutaro.com>

バス・バリトン

狩野 賢一 かのう けんいち



国立音楽大学卒業、同大学院修士課程声楽専攻ドイツ歌曲コース修了。修了時に声楽専攻の最優秀賞を受賞。二期会オペラ研修所修了。第9回藤沢オペラコンクール奨励賞。秋葉京子、山下浩司、吉澤哲夫、山田祥雄、長井則文の各氏に師事。バッハ、モーツァルト、ベートーヴェンらを始めとする様々な宗教作品のソリストを務める他、《第九》ソリストとしては東京フィルや大阪フィルと共演。また2015年9月にはセイジ・オザワ松本フェスティバル「子どものための音楽会」にて《第九》ソリストを務める。在学中に《ドン・ジョヴァンニ》レポレッコでオペラデビュー後、文化庁委託人材育成オペラ、小澤征爾音楽塾特別演奏会、東京二期会、東京・春・音楽祭、日生劇場、藤沢市民オペラ、立川市民オペラ等に多数出演。2017年10月には東京二期会《ばらの騎士》愛知公演にて、バスの難役とされるオックス男爵を演じる。2018年3月には東京二期会コンチェルト・シリーズ《ノルマ》にオロヴェーゾで出演予定。二期会会員。

管弦楽

コンツェントゥス・ムジクス東京



コンツェントゥス・ムジクス東京(CMT)は、ピアニストとして、また、管弦楽・オペラ・合唱の指揮者として、枠を超えた活躍を続ける永井宏の類い希な才能と音楽性に共鳴する、若い音楽家を中心に結成された、声楽と器楽のプロ・アンサンブルである。

2000年12月1日、紀尾井ホール(東京・四ッ谷)における結成記念G.F.ヘンデル「メサイア」演奏会を開催、その演奏会

に初めて接した聴衆・各関係者各位からアンサンブルの妙味を絶賛され、そのレベルの高さに驚嘆の聲が寄せられた。この団体の名称である"Concentus Musicus"とはラテン語で「音楽の共鳴・調和」であり、ひいては「音楽的に共鳴する仲間・集団」をも意味する。音楽監督である永井をはじめCMTメンバーの観点は常に「演奏」にあり、作曲家や作品に対する深い愛情と共感、そして、それを実現させる豊かな技術を以って「演奏」することを旨としている。真摯な「演奏」への取り組みが、作曲家や作品についての垢を削ぎ落として本来の姿に立ち返ろうとする【ルネサンス(復興)】をねらいとしていることが最大の特徴である。結成以来CMTのレパートリーは歴史の流れをふまえつつ古典を現代に活かす意味からも、よりクラシカルな作品と作曲家を中心に据えながら、多岐にわたり、子供から大人まで様々な世代・形態の人々に応じた演奏会やスクールコンサートを企画、演奏を展開している。

ピアニスト 江本 裕美 えもと ひろみ



国立音楽大学音楽学部器楽学科、ピアノ専攻卒業。岩部能理子、駒沢とみ子、故アンリエット・ピュイグ・ロジェの諸氏に師事。学生時代より、歌曲・オペラの伴奏法や、室内楽などアンサンブルの勉強を始め、卒業後も伴奏者として、学内演奏会、同大学院演奏会他、多くのコンサートやコンクールに出演。合唱団との共演も多い。現在、同大学の嘱託伴奏者を務めるかわら、多くの歌手、合唱団の伴奏を手がける。

練習指導者

副指揮者 清水 新 しみず あらた



神奈川県出身。ピアノを篠崎眞佐子、野村アキ、拜田正機、三木香代の各氏に師事。指揮法を永井宏に師事。国立音楽大学附属音楽高等学校音楽科を経て、同大音楽学部器楽学科ピアノ専攻を卒業後、同大学院音楽研究科器楽専攻を修了。在学中、学内選抜による演奏会をはじめとした様々な演奏会に出演。2009年にはくにたちフィルハーモニーと共演。同年、リサイタルを行う。2003年より現在に至るまで、国立音楽大学室内合唱団 Kammer-Chor、コンツェントゥス・ムジクス東京などのピアニストを務め、オラトリオやミサを中心とした様々な作品に親しむ。音楽研究科在学中の2009年より、同大音楽専修による「国立音楽大学合唱団」のピアニストとして活動。同年、同大室内合唱団 Kammer-Chor の副指揮者に就任。

2013年6月には、サントリーホール「レインボウ21」にて指揮者として出演。

現在、国立音楽大学室内合唱団 Kammer-Chor ピアニスト兼副指揮者。コンツェントゥス・ムジクス東京、オイレンシュピーゲル、立川市民オペラ各ピアニスト。国立音楽大学嘱託演奏員。

ボイストレーナー 永澤 麻衣子 ながさわ まいこ



国立音楽大学声楽学科卒業。瀬戸美子、清水明子、田島好一、吉澤祐江の各氏に師事。また、日本やドイツにおいて、Ch.d.プロイン教授に師事しリート解釈等の研鑽を積んでいる。第51回瀧廉太郎記念全国高等学校声楽コンクールにおいて優秀賞及び竹田市長賞を受賞。ヴィヴァルディ、ヘンデル、バッハ、ハイドン、モーツァルト、メンデルスゾーン、ラインベルガー、プリテン他数多くの宗教曲のソリストとして活躍。また、'06年1月、世田谷美術館プロムナードコンサート、小山貴之(読売日響)ヴィオラ・リサイタルに、ブラームス「アルトとヴィオラのための2つの歌 作品91」で出演。'07年12月には、仙台にて、ソロリサイタルを開催。また、ヴォイス・トレーナーや合唱指導者としても活躍している。プロ声楽&器楽アンサンブル【コンツェントゥス・ムジクス東京(CMT)】団員。

ボイストレーナー 牛津 佐和子 うしづ さわこ



国立音楽大学声楽学科卒業、卒業時、武岡賞受賞。同大学院(伊歌曲専攻)修了。大学院修了後は短期間、英国にて研鑽を積む。これまでに、故塚田京子、田口興輔、佐橋美起、清水明子、故 E. ハーテル、I.ドムニクの各氏に師事。全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第1位。日本声楽コンクール入選、奥田良三賞受賞。読売新人演奏会、サントリーホール主催「レインボウ21」、「吉永小百合原爆詩朗読コンサート」等数々のコンサートに出演。また国立音楽大学合唱定期演奏会、ベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイア」、バッハ「ヨハネ受難曲」、モーツァルト「レクイエム」「ハ短調ミサ」等のソリストとしても出演。プロ声楽&器楽アンサンブル【コンツェントゥス・ムジクス東京(CMT)】団員。

練馬区民合唱団の概要

<沿革>

- 平成2年 3月 合唱団設立 結団式（練馬区によって創立）
（設立時から平成23年4月までの常任指揮者：国立音楽大学教授 長井則文）
- 平成13年 4月 練馬区運営から自主運営に移行

<現在>

- 指揮者 永井宏（国立音楽大学 教授 平成23年7月より）
- 副指揮者 清水新
- 伴奏ピアニスト 江本裕美
- ボイストレーナー 永澤麻衣子、牛津佐和子
- 団員数は約100人。
- 団員の80%が練馬区民か在勤者です。
- 運営は団員による自主運営が行われています。

<本年度の主な活動>

- 平成29年 3月 3日 第25回定期演奏会（練馬文化センター）
- 5月14日 練馬区春の合唱祭参加（練馬文化センター）
- 7月15日 新入団員歓迎会
- 7月30日 ハイキング（東秩父村 和紙の里）
- 8月 5日 練馬区独立70周年記念コンサート「真夏の第九」有志出演（練馬文化センター）
- 9月10日 練馬区文化団体協議会合同文化祭出演協力（練馬文化センター）
- 9月14日 敬老会ボランティア出演（大泉特別養護老人ホーム）
- 10月22日 練馬区秋の合唱祭参加（練馬文化センター）
- 11月19日 ハイキング（玉川上水～小金井公園）
- 12月16日 忘年懇親会
- 12月17日 ユニバーサルオーケストラコンサート出演協力（練馬文化センター）
- 平成30年 1月 5日 練馬区賀詞交換会賛助出演（としまえん特設会場）
- 1月 8日 練馬区成人の日の集い賛助出演（としまえん特設会場）
- 2月25日（本日） 第26回定期演奏会（練馬文化センター）

<運営体制>

団長	鍋田 隆章			
副団長	草道 恵美子（パートリーダー長） 江口 汎			
役員	清水 敦子（渉外・親睦） 馬場 順一（会計） 國吉 英助（会場） 横山 方一（広報） 伊藤 勲（パートマネージャー長）			
パートリーダー	高山 美恵子(S) 岩田 理恵子(S) 杉浦 順子(A) 草道 恵美子(A) 笠原 勲(T) 滝野 豊(B)			
パートマネージャー	幸治 純子(S) 大屋 良子(S) 十河 靖代(A) 加藤 はるみ(A) 中村 尚司(T) 伊藤 勲(B) 土 幸一朗(B)			

練馬区民合唱団名簿（平成30年1月現在）

ソプラノ

浅見 律子	石川 順子	上田 富美子	太田 浩子
小山内 恵子	加藤 輝乃	川内 哉子	幸治 純子
高山 美恵子	斎藤 浩子	島崎 尚美	田口 啓子
團 純子	保科 直子	山下 由美子	
有賀 直子	生田 澄江	岩田 理恵子	遠藤 芳子
大屋 良子	佐藤 田鶴子	白井 雅江	鈴木 貞子
住田 康子	田中 邦子	富田 美和	中村 直子
那須 栄子	長谷川 美恵子	塹江 千恵	松本 稔恵
村上 智恵子	山西 律子	渡辺 知子	

アルト

荒川 葉子	植田 マチ子	宇佐美 千代子	大森 岑子
岡田 のぶよ	神村 由起	菊浪 靖子	久保田 たか子
古塚 桂子	小林 則子	笹山 敦子	杉浦 順子
十河 靖代	高橋 博子	玉井 千佳子	野瀬 有紀子
日浅 美由紀	本郷 妙子	政岡 香織	若井 加恵
渡辺 由美	和田 博子		
石川 真子	岩本 文子	加藤 はるみ	草道 恵美子
斉藤 弘子	桜田 節子	清水 敦子	鈴木 篤子
鈴木 節子	田辺 美知子	富永 チカ子	豊島 関子
三井 恵子	本橋 たつ江		

テノール

浅見 登美夫	海老原 俊夫	笠原 勲	川内 崇與
小林 信久	土井 幸夫	馬場 順一	山内 健生
江口 汎	岡崎 文雄	北川 文珠二郎	京極 磐夫
中村 尚司	長谷川 謙二	山本 昌生	渡辺 敬介

バス

浅見 昇	伊藤 勲	伊藤 正文	岩田 一郎
國吉 英助	今野 晴人	桜井 順一	塩沢 宏夫
瀬沼 正一	武市 則昭	寺寄 裕一	三澤 了
岡田 幸雄	加藤 忠晴	工藤 泰興	塩野 浩伸
菅 伸太郎	滝野 豊	土 幸一朗	鍋田 隆章
松川 一夫	横山 方一		

団員募集のお知らせ

第26回定期演奏会終了後、団員募集受付をいたします。

私たちと一緒に歌いませんか？

詳しい日程等お問い合わせは

連絡先： 江口 Tel: (03) 3999-6227

ホームページ：<http://www.nerima-kumin-chor.info>

練習日

毎週土曜日17時45分から21時までで、演奏会前には臨時練習もあります。

練習会場

生涯学習センター（旧練馬公民館、西武池袋線・大江戸線、練馬駅下車徒歩7分）を主として利用していますが、そのほかに以下の区内の施設でも練習しています。

光が丘区民センター（大江戸線 光が丘駅下車）

練馬第三小学校（西武池袋線 中村橋駅下車）

豊玉小学校（西武池袋線・大江戸線 練馬駅下車）

会費

入団費 1,000 円 団費 4,000 円 / 月

その他臨時費用（楽譜、衣装代など）

主催：練馬区民合唱団

後援：練馬区合唱連盟